

川文庫、148頁〜156頁）、ここから遠壽院、法華経寺（宗門）の並立時代が始まったのである。

久村氏について付け加えよう。事件背後の首謀者だった増田氏もいろいろ問題を起こした人物だったが、脱走を現場指揮した久村氏もかなりの人物であった。「地上げの帝王・早坂太吉」と親交があり、とかくの話がまとわりついていた（佐野真一『あぶく銭師たちよ！』ちくま文庫、63頁〜118頁に詳しい）。

傍（はた）から一見すれば、行堂問題は、宗門内のコップの中の嵐である。しかし、国の体制、近現代教団権力と信仰伝統、行における宗教倫理と社会倫理など、背景をふくめて問題を追及すると歴史・社会への広がりが見えてくるのである。

※筆者は遠壽院が2017年から推進中である行堂改革の外部委員である。本稿は影山教俊著『日蓮宗とは何か 日蓮宗加行所をめぐる戦後60年の光と影』と遠壽院の戸田日晨伝師のご教示に事実経過の認識を負っている。事実の誤りや、ご意見があればご教示をいただきたく願っている。

藤田庄市◆プロフィール

ふじた・しょういち

1947年東京生まれ。フォトジャーナリスト。著書に『行とは何か』（新潮社）、『修行と信仰——変わるから変わるころ』（岩波現代全書）、『現代山岳信仰曼荼羅』（天夢人）、『カルト宗教事件の深層 スピリチュアル・アビュースの論理』（春秋社）、写真集『伊勢神宮』（新潮社）ほか多数。



遠壽院荒行僧 集団脱走事件

令和5（2023）年4月1日 発行

〒272-0813

千葉県市川市中山2丁目3-2

正中山根本御祈祷系授の傳加行所 遠壽院

TEL ◆ 047-3334-2386

FAX ◆ 047-3332-8157

URL ◆ <https://www.onjuin.com/index.html>